

## 門前正彦教授 略歴

昭和 九年 一月 熊本市に生まれる

昭和三二年 三月 奈良学芸大学学芸学部文科甲類国語科卒業

昭和三五五年 三月 京都大学大学院文学研究科国語学国文学専攻修士課程修了（文学修士）

昭和三五五年 四月 京都府立桃山高等学校兼任講師（昭和三六年三月まで）

昭和三六六年 四月 東京学芸大学附属高等学校教諭（昭和四二年三月まで）

昭和四二年 四月 四天王寺女子大学文学部専任講師

昭和四四年 四月 四天王寺女子大学文学部助教授

昭和五〇年 四月 四天王寺女子大学文学部教授

昭和五六年 九月 四天王寺国際教科大学退職（四天王寺女子大学名称変更）

昭和五六年 十月 福井大学教育学部教授

平成 三年 八月 大学設置・学校法人審議会教員組織審査

平成 六年 三月 福井大学大学院教育学研究科修士課程教授M合判定

平成 六年 四月 福井大学退職

平成 八年 四月 同志社女子大学教授

平成 八年 八月 同志社女子大学日本語日本文学科主任（平成十年三月まで）

大学設置・学校法人審議会教員組織審査

同志社女子大学大学院文学研究科日本語日本文化専攻修士課程M合専任教授

平成 九年 四月 同志社女子大学大学院文学研究科日本語日本文化専攻修士課程教授

平成一二年 四月 同志社女子大学博士課程後期教授

平成一六年 三月 同志社女子大学退職

## 学会活動

昭和三年 四月 訓点語学会会員

昭和三年 四月 訓点語学会編集委員（昭和三六年三月まで）

昭和三六年 四月 国語学会会員

昭和三六年 四月 万葉学会会員

## 研究業績

### 【著書】

『立本寺蔵 妙法蓮華經古点』

訓点語学会「訓点語と訓点資料」別刊第四

昭和四三年一二月

### 【学術論文】

「天草版金句集」における比況表現

奈良学芸大学国文学会「文学研究」第二号

昭和三〇年一二月

「聞きまがはざる」か「聞きまがはざる」か —打消の助動詞の連体形について—

京都大学国文学会「国語国文」第二五卷第一二号

昭和三十一年二月

古事記訓法覚書(一)

―ベシの補助活用 of 成立―

解釈学会「解釈」第三卷第一号

昭和三十一年一月

今昔物語集 of 文章おぼえがき

―打消 of 助動詞 of 連体形について―

解釈学会「解釈」第三卷第二号

昭和三十一年二月

漢文訓読史上 of 一問題

―打消 of 助動詞 of 連体形について―

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第八輯

昭和三十一年九月

漢文訓読史上 of 一問題(二)

―「ヒト」より「モノ」へ―

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第一輯

昭和三十一年三月

成唯識論 of 「ざりぬる」というよみ方について

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第二輯

昭和三十一年八月

漢文訓読史上 of 一問題(三)

―助動詞「ざり」について―

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第三輯

昭和三十一年二月

漢文訓読史上 of 一問題(四)

―「井」字 of 訓について―

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第四輯

昭和三十一年一〇月

高等学校・第二学年学習指導案と教材「文学について」〔学習目標と指導方法〕説明文 of 読解について

全国大学国語教育学会「国語科教育」第九集

昭和三十一年三月

漢文訓読史上 of 一問題(五)

―「欲」字 of 訓について―

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第五輯

昭和三十一年三月

漢文訓読史上 of 一問題(六)

―「曾」字 of 訓について―

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第二八輯

昭和三十一年四月

漢文訓読史上の一問題（七）——「名ヲバストイフ」というよみかたについて——

法隆寺旧蔵 地藏十輪經卷第四の訓点

天理図書館蔵 妙法蓮華經卷第四訳文稿

五島美術館蔵 妙法蓮華經卷第五の訓点について

国宝千手千眼陀羅尼經の訓点

国宝千手千眼陀羅尼經訳文稿

旧恩頼堂文庫本 胎藏儀軌卷下の訓点について

法隆寺旧蔵 地藏十輪經卷第四の訓点（続）

今昔物語集の表記より片仮名交り文の起源に及ぶ

仮名交り文

日本文章史上の諸問題——宣命と変体漢文——

仮名交り文の本質——事実と解釈——

語彙に関する一問題——「漢字語」をめぐる——

「漢文的表記」をめぐる諸問題——ラングに対する疑問——

漢字仮名交り文と助詞

ことばと人間

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第三二輯

京都大学国文学会「国語国文」第三五卷第五号

東京学芸大学附属高校研究紀要IV

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第五四輯

『大坪併治教授退官記念国語史論集』表現社

四天王寺女子大学国文学会「埴生野国文」第七号

京都大学国文学会「国語国文」第四六卷第四号

論集『日本文学・日本語2中古』角川書店

訓点語学会「訓点語と訓点資料」第六二輯

福井大学国語国文学会「福井大学国語国文学」第二四号

帝塚山学院大学日本文学会「帝塚山学院大学日本文学研究」第二二号

福井大学国語国文学会「福井大学国語国文学」第三〇号

『語源探求』三 明治書院

「同志社女子大学日本語日本文学」第七号

「同志社女子大学日本語日本文学」第二一号

「同志社女子大学日本語日本文学」第二二号

昭和四一年 二月

昭和四一年 五月

昭和四一年 一月

昭和四九年 五月

昭和五一年 二月

昭和五一年 二月

昭和五一年 五月

昭和五二年 一月

昭和五四年 三月

昭和五九年 九月

平成 二年 二月

平成 三年 三月

平成 三年 一月

平成 七年 一月

平成 一一年 一月

平成 一二年 一月

意味と人間

意識・無意識と人間

類似的認識・判断と人間

【その他】（研究情報）

ラング？パロール？

人間と言語

メタファー・ことば・言語

「同志社女子大学日本語日本文学」第一三号

平成一三年 六月

「同志社女子大学日本語日本文学」第一四号

平成一四年 六月

「同志社女子大学日本語日本文学」第一五号

平成一五年 六月

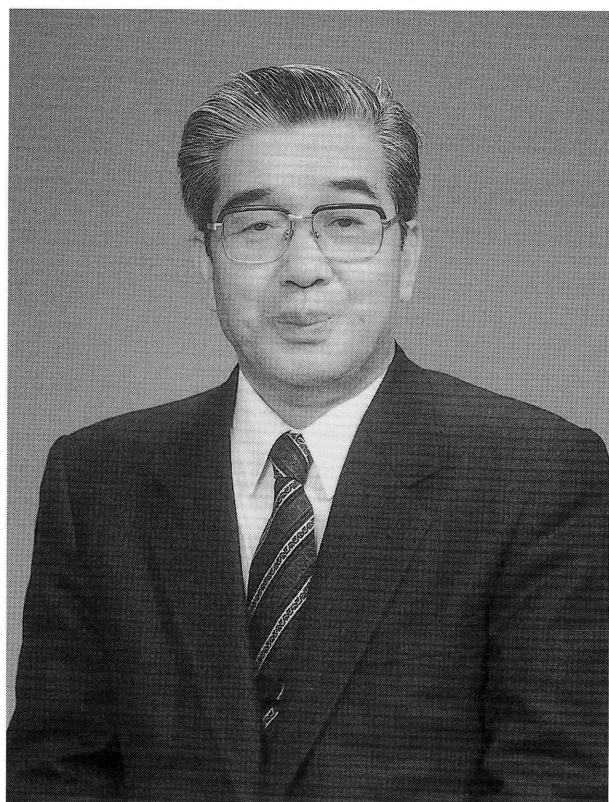
同志社女子大学「しばぐさ」第三四号

平成 七年 八月

「同志社女子大学日本語日本文学」会報第二〇号

平成 九年 三月

同志社女子大学文学部日本語日本文学科だより第四四号 平成十六年 三月



門前正彦教授近影